

デジタル技術の活用及び DX 推進の取組状況

①デジタル技術が社会や自社の競争にどのような影響を及ぼすか

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。このような社会状況の中、お客様のお役に立てるサービスを提供して事業を成長発展させるためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

②経営ビジョン及びビジネスモデル

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様にとっての「常に頼れるパートナー」としてお付き合い頂ける企業を目指します。

ビジネスモデルとしては、会員制のコンサルティングサービス「企業コンシェル」を中心に提供しており、お客様専属の担当コンシェルがワンストップで相談を受け最適な人材と共に問題解決に対応致します。

③経営ビジョン・ビジネスモデルを実現するための戦略(DX 人材育成含む)

デジタル技術の活用により、ご契約後のお客様のサポート体制をシステム化し、より素早く対応ができる体制を構築します。そのために、「ご契約中のお客様専用のサポートシステム」を導入します。これにより、お客様に最適な情報を素早くご提供し、顧客満足度と事務作業の生産性を大幅に向上させます。

④戦略推進のための体制・組織

代表取締役 高橋伸文の直下に情報システム部門を新たに発足します。情報システム部門のリーダーは加藤進午が担当します。社内外の研修や勉強会に従業員を参加させ、情報システムに精通した人材を育成します。